

No. 194 会報誌「ソフィアーズナウ」 Autumn 2023

Sophians Now



All Sophians' Christmas 2023



日時：**12月9日(土)15:00~17:30**

今年もそろそろクリスマスの季節。

All Sophians' Christmas 2023 の詳細は

裏表紙でご確認ください！！

ソフィア会の最高議決機関である全国代議員会は、2023年の春は5月20日(土)、秋は10月21日(土)、学内6号館101教室において開催されました。春は出席代議員数(委任状提出者を含む)394名。2回とも対面での開催となり、代議員会後の懇親会(2号館学生食堂)も含めて大勢の方が参加されました。

春季全国代議員会:事業計画、予算などを承認

春の代議員会では、冒頭に鳥居正男ソフィア会会長が挨拶。

「早いもので、本日で会長としての任期が満了します。会長に就任以来、新型コロナと隣合わせの運営となりましたが、皆さまのご協力のお陰で、組織として機能し、会議やイベントは、始めはオンライン、その後オンラインと対面のハイブリッド方式を工夫し、試行錯誤をしながら活動してきました」と今期を振り返りました。そして「このほぼ3年間は、学院と大学の経営もコロナの影響でご苦労が多かったと思います。厳しい財政状況を支援するために、代議員の皆さまのご承認の下、一昨年はハイフレックス授業環境整備の支援に3,000万円、昨年はウクライナからの留学生支援に2,000万円の寄付をさせていただきました。このような厳しい時期にソフィア会として大学を支援できうれしく思います。この間の細かい情報交換や打合せを通じ、学院・大学との協調関係が強まったことを実感しています」と成果の一端を語りました。

続いて、5月1日に就任されたアガスティン サリ新理事長(佐久間前理事長はイエズス会日本管区長に就任)にもお越しいたご、大学の現状を含めてご挨拶をいただきました。

「これまででも総務担当理事などとしてソフィア会とは深く関りを持ってきましたが、今後は佐久間前理事長のあとを引き継ぎ、新たなスタートを切りたいと思います」と決意を語られるとともに、1年前倒して今年度から取り組む中長期計画「グランドレイアウト3.0」に向けた「10のコメント(アクションプラン)」について説明されました。最後に「上智大学を大切にくださっているソフィア会の皆さまの力、智恵、物質的支援を引き続きお願いします。皆さまの支援をしっかりと学生に伝えるときともに、ご支援に御礼申し上げます」と語られました。



参加代議員の皆さん

2022年度収支決算書 自 2022年4月1日 至 2023年3月31日

(単位:円)

項目	2022年度予算	2022年度実績
【収入の部】		
1 終身会費(同窓会費)	120,000,000	118,100,000
2 維持会費(運営協力費)収入(注1)	4,000,000	2,844,012
3 上智学院預け金利息	2,700,000	2,819,527
4 カード手数料収入	2,700,000	2,713,236
5 クラブ使用料収入(注2)	1,000,000	928,600
6 その他収入(ネットショッピングなど)	200,000	26,808
収入計(a)	130,600,000	127,432,183
【支出の部】		
1 事務局費		
人件費	8,830,000	8,895,697
通勤費	1,350,000	525,620
業務委託費	430,000	422,400
会議費	1,000,000	886,696
通信運搬費	800,000	967,208
印刷費	600,000	474,933
消耗品費	1,300,000	1,645,293
機材使用料(注3)	3,100,000	1,990,548
渉外費	100,000	0
銀行手数料	300,000	352,916
その他費用	1,680,000	698,452
1 事務局費支出合計	19,490,000	16,859,763
2 事業費		
① 広報費 (計)	(17,850,000)	(17,613,759)
会報印刷・その他費用	3,400,000	3,167,239
ウェブサイト費(ホームページ費)	3,450,000	3,446,520
未来募金・配送料見合	11,000,000	11,000,000
② ソフィアズクラブ費(注2) (計)	(8,950,000)	(7,709,364)
クラブ人件費	1,600,000	1,651,200
クラブ通勤費	240,000	182,140
クラブ業務委託費	200,000	147,400
クラブ管理費(夜間)	4,750,000	4,160,475
クラブ水道光熱費	700,000	572,656
クラブ備品費	850,000	772,200
クラブその他費用	610,000	223,293
③ 奨学金(ソフィア会奨学金)	19,170,000	19,170,000
④ 募金委員会費(維持会費を含む)	700,000	332,738
⑤ ASF 運営費(注4)	5,700,000	4,711,277
⑥ ASC 運営費	1,000,000	972,885
⑦ 地域・各種ソフィア会連携推進費(注5)	4,690,000	3,086,886
⑧ 国際委員会費(注6)	2,250,000	1,135,222
⑨ 学生支援事業 (計)	(12,065,000)	(11,752,413)
寄付講座費	1,000,000	1,000,000
学生課外活動支援費	10,000,000	10,000,000
その他の学生支援費(ソフィア祭現役支援等)	600,000	600,000
OBOG 交流会費(注7)	200,000	0
キャリア支援プロジェクト費	265,000	152,413
⑩ その他事業費(注8)	10,260,000	7,384,620
⑪ 学部・学科同窓会支援費(注9)	5,300,000	3,218,724
⑫ 社会貢献推進委員会費	100,000	87,774
⑬ 常設委員会費(役員選考委員会、被顕彰者選考委員会)	500,000	406,870
⑭ IT インフラ支援費	1,500,000	1,203,400
⑮ 名簿管理費(注10)	2,500,000	0
⑯ 緊急学生特別支援寄付(注11)	—	20,000,000
2 事業費支出合計	92,535,000	98,785,932
3 予備費	3,000,000	0
支出計(b)	115,025,000	115,645,695
当期収支(c=a-b)	15,575,000	11,786,488
期首積立金(純資産)	259,492,241	259,492,241
当期収支(c=a-b)	15,575,000	11,786,488
期末積立金(純資産)	275,067,241	271,278,729

- (注1) ソフィアズナウ送付時に、維持会費振込用紙を封入できなくなりましたことにより。 (2023年度は解決できる見込みです)
- (注2) 新型コロナの影響により、ソフィアズクラブの開館に制限をかけていたことにより。
- (注3) コピー機リースを1台解約したことにより。
- (注4) 予算に見込んでいなかった広告収入100万円により。
- (注5) 新型コロナの影響により、地域・各種ソフィア会が開催できなかったこと、全国地域ブロック化活動が計画通りできなかったことにより。
- (注6) 国際人材育成支援、PRビデオ作成などの活動ができなかったことにより。
- (注7) 新型コロナの影響により、対面活動が実施できなかったことにより。
- (注8) 新型コロナの影響により、金・ルビー・銀・銅祝賀会の規模縮小に伴うものです。
- (注9) 全学部・学科に対する支援費を予算化しましたが、一部の学科で十分な活動ができなかったことにより。
- (注10) 名簿整備のためのシステム利用について、再検討することにより。
- (注11) 2022年10月に開催された秋季全国代議員会で承認された、ウクライナからの留学生支援金の支払いによるものです。

第2期鳥居体制が発足

その後、会長が議長となり4つの事項を審議。事業報告は鳥居会長、決算報告については大川成儀財務委員長、そして長村彌角監事が監査報告を行いました。

この中で鳥居会長は3年間を振り返り、卒業生のネットワーク強化を図り、具体的には①海外ソフィア会との交流・連携強化、②地域ソフィア会全国大会や地域ソフィア会連絡会議の開催などを通じて地域ソフィア会の連携強化、③学部・学科同窓会の組織強化などについて報告。

また今後については、①開かれた透明感あふれる組織強化、②多様性に富むチーム、③ソフィア会のミッションに忠実に身の丈の範囲でしっかり実行、④効率的な組織運営などの項目を挙げて説明しました。

2022年度事業報告・決算報告および監査報告についてはすべて拍手によって承認されました。さらに今回は役員改選期に当たることから、代議員および正副会長、監事について茂木敬司役員選考委員長が提案、承認。休憩を挟んで新会長、副会長による選考を経て、新たな常任委員会も紹介しました。

その後、鳥居会長、大川財務委員長が2023年度事業計画および予算案を説明、審議ののち承認されました。

代議員会は定刻を若干過ぎた午後4時過ぎに終了、場所を2号館5階学生食堂に移し、懇親会を行いました。



懇親会の締めくくりは校歌斉唱

秋季全国代議員会も予定通り開催

秋季全国代議員会は10月21日(土)午後2時から、学内6号館101教室で行われました。

冒頭、鳥居会長が「5月の春季全国代議員会で、ソフィア会会長に再任され、もう一期務めさせていただくことになりました。改めてよろしくお願いたします。新体制でスタートしてちょうど5か月経ちますが順調な滑り出しが切れたと思っています。ソフィア会の活動の2本柱に立ち返り、『卒業生の親睦』と『母校への貢献・学生支援』をしっかりと進めて参るつもりです」と挨拶。

続いて、来賓としてお越しのアガスティン サリ上智学院理事長が

挨拶に立たれ、今年が大学創立110周年を祝うさまざまな行事を開催していることや、上智学院の10年計画を修正して8年で達成する「グランドレイアウト3.0」について説明されました。さらに理事長は上智大学の新しい側面についての検討、本学が1箇所にすべての学部が集中しているワンキャンパスの総合大学であることを活かした学問的横断の充実、コミュニティカレッジの再開など社会的貢献の強化についても説明され、最後に、上智大学に対する卒業生からのさらなる支援を呼びかけました。

来賓挨拶に続いて議事に入り、鳥居会長がスライドを使って活動を報告。この中で会長は、春季の全国代議員会でも説明したソフィア会の5つの運営方針をあらためて強調し、続けて同会の副会長7名、専門委員会委員長11名を紹介しました。

その後2023年度前期の振り返りとして、以下のような項目の具体的な実施状況について説明がありました。

- ① 卒業生とのネットワークの強化：鹿児島で行われた全国地域ソフィア会全国大会をはじめ、さまざまなソフィア会の総会に参加した。
- ② 現役学生支援の継続：ソフィア会奨学金の給付や学生課外活動支援金贈呈式などを実施した。
- ③ 各種イベントの開催：ASF、ASC、複数の講演会、ソフィアズカップ・ゴルフ大会などを実施した。
- ④ 上智学院・大学との協力・連携強化：卒業生による学生への教育の場を提供した。

そして今後の予定イベント、募金などにも触れ、最後にソフィア会のスローガン「つなげよう、広げよう、深めようソフィアンの絆」の実践を呼びかけました。

このあと審議事項に移り「新規代議員の承認の件」、「役員選考委員会規程の一部改訂の件」、「代議員選任役員選考委員の件」、「被顕彰者選考委員会委員選任の件」のいずれも承認されました。

引き続き「常任委員会選任の役員選考委員について」、「SOPHIA未来募金『ソフィア会奨学金』へのご寄付のお願い」、「第12回地域ソフィア会全国大会2023鹿児島大会の開催報告」、「2023オールソフィアンのクリスマス(ASC)の開催について」という4つの報告があり、代議員会は無事終了。その後、場所を2号館5階の学生食堂に移して、立食形式での懇親会を行い、お互いの旧交を温めました。



2023年秋季全国代議員会

4年ぶりの通常開催となったASFを ASF実行委員会初参加者目線でレポート

今年も5月の最終日曜日、5月28日に開催されたオールソフィアンの集い（ASF）。コロナ禍を乗り越え、大きな制約もなく本格開催されるのは4年ぶり、実行委員長の菅原明代さん（1989 外独）、総指揮の金谷武明さん（1995 法法）をはじめ、実行委員一同開催まで少しの不安と期待を胸に ASF 当日を迎えました。

昨年同様ハイブリッド形式で実施され、四谷キャンパスに約6,500人、オンラインに約3,200人と合計約1万人の方にご参加いただき、大盛況のイベントとなりました。昨年末行われたキックオフを皮切りに、全13回に渡る実行委員会でのミーティングを重ね迎えた今年のASFはどのような様子だったのか？今年の野外ステージMCを務めASF初参加の石井しおり（2011 総社）よりご報告させていただきます。



MC中の石井しおりさん

初参加の経緯

私が今回初めてASFに参加した理由は、ソフィアンであることでこれまでに母校から受けてきたさまざまな恩恵に、何かしらの形で報いたいという思いからでした。

新卒で縁もゆかりもない福岡の企業に就職した私は、偶然にも社内に福岡ソフィア会所属の先輩がいらしたことから、福岡ソフィア会のさまざまなイベントに参加させていただき、社会人生活を楽しく歩み出すことができました。また、この会を通じて国内のみならず世界中にソフィアの繋がりがあること、そして多くの優秀な先輩方がさまざまな組織を先導し社会を支えておられることも知り、夢が広がると同時に、同じソフィアンであることに誇りを持って生きていきたいと思うきっかけにもなりました。

そんな中、あるソフィアンの先輩の「ASF実行委員募集」という投稿をFacebookで偶然見かけたのです。私は実はそれまでASFに一度も参加したことがありませんでしたが、毎年その方が楽しそうに参加されている様子をSNS上で拝見していたので、密かに気になっていました。そこで思い切って実行委員のミーティングに参加してみると、意外にも私同様に初参加の方も多く、いわゆる「陽キャ」の方々ばかりではなかったのでこの雰囲気ならば馴染めそうだと安堵したのを覚えています。（笑）

繋がるソフィアンの輪

ASF当日。驚いたのは、朝8時に行われたASF実行委員会の全体集合の人数の多さ！ASFには11月に行われるソフィア祭実行委員会の学生が大勢力を貸してくれるのです。教室全体が熱を帯び「皆この瞬間が忘れられずここに集うのかも」と感じました。そんな大所帯をまとめる学生代表はたった2人。ミーティング時からその冷静沈着な姿には感心していましたが、当日全体を見回りながらサポートに回る様子はとても頼もしく見えました。

一方、私はオンサイト企画である「ソフィアン物産展」と「学内ツアー」の準備、当日はメンストに設置された野外ステージMCを担当させていただきました。その野外ステージでは上智の進化と伝統の共存を感じることができました。今時のサークルがいくつも新設され今の上

智の姿を見られた一方で、応援団の演舞は伝統が引き継がれ、メンスト中央に立てば構内全体を見渡せるアットホーム感には変わらぬ良さを感じました。

学内ツアーは、学生のサポートもあり多くのお客様にご参加いただき、毎年制作しているASFオリジナルグッズ販売も好評でサコッシュは見事完売！そして、ソフィアン物産展。この企画は、卒業後、事業を手掛けていらっしゃるさまざまなソフィアンの方にお声がけし、商品やクーポンなどを提供・販売していただくというもので、多くのご協力もあり貴重なソフィアンの輪を広げることができました。例えば、今年初出店の杉養蜂園様は福岡ソフィア会の方のご紹介でASFオリジナルの蜂蜜を提供してくださいました（蜂蜜は我が家の必需品に）。また、ASF2023公式ホームページでオンライン出店したブライダルジュエリーAndel様には、ソフィアン物産展を機に私自身も挙式用にオーダーさせていただくという素敵なお縁に繋がりました。



熱気あふれる朝会

そのほか、毎年大盛況の婚活パーティー企画「ゆる婚」は16組のカップルが誕生！恒例となった世界中で活躍するソフィアンがオンライン上でリアルタイムに繋がる企画「Sophians around the world」も同企画の立ち上げから携わる豊田圭一さん（1992 経経）によるMCのもと、ニューヨーク、韓国、シドニーから4人のソフィアンが参加しました。

そして6号館講堂で行われた講演会には元フジテレビアナウンサーの河野景子さん（1988 外仏）、小林製薬株式会社執行役員 CDO を務める石戸亮さん（2006 理電）が登壇。河野さんは「世界と夢を広げてくれたキャンパスでの日々～いまのわたしにつながる大切な思い出たち」、石戸さんは「枠組みを超える事が組織と事業、日本企業をもっと元気にする」をテーマに、在学時代から現在に至るまでの経緯と共に軽快なトークで会場を、そしてオンライン視聴者を楽しませていただきました。

講演会をはじめとしたオンライン企画は、今年もアーカイブでいつでも視聴できます。今回も四谷キャンパスとオンラインで共に ASF にご参加下さった皆様、開催にあたりご協力下さいました各方面の皆様、誠にありがとうございました。来年も5月の最終日曜日に ASF で皆様にお会いできることを楽しみにしております。



好評をいただいた物産展



実行委員が笑顔で集合！

オールソフィアンの集い（ASF2024）への参加団体を募集します

2024年（令和6年）の「オールソフィアンの集い（ASF2024）」は、2024年5月26日（日）に開催します。当日、大学内の施設利用（教室、メンスト、体育館など）を希望する団体は、下記からお申込みできます。多くの団体のご参加をお待ちしております。

【教室利用（グループ集會）
の申込み



【模擬店（飲食物提供）
@メンスト】の申込み



【フリーマーケット
（飲食物を提供しない企画）
@メンスト】の申込み



【運動場・体育館利用
の申込み



2023年度各祝式典のご案内

卒業周年行事である2023年度各祝式典を右記の日程で開催いたします。

詳細は決まり次第、ソフィア会ウェブサイトやメールニュースでご案内いたします。

日時：2024年（令和6年）2月24日（土）
対象者：金祝（卒業50周年）1973年卒業
ルビー祝（卒業40周年）1983年卒業
銀祝（卒業25周年）1998年卒業
銅祝（卒業15周年）2008年卒業

藤崎一郎元駐米大使講演会

国際情勢 ー裏からの見方ー「変わる米国変わらぬ中国」

5月28日(日)に藤崎一郎元駐米大使をお迎えして、第6回ASF学術講演会をオンライン方式で開催。「変わる米国変わらぬ中国」をテーマに、国際情勢の「裏からの見方」について講演いただきました。

藤崎先生は、1969年に外務省に入省し、北米局長、外務審議官、在ジュネーブ国際機関日本政府代表部大使、駐米大使を歴任。上智大学では、上智大学特別招聘教授、国際関係研究所代表、国際戦略顧問として活躍された方です。

講演では、米国における白人比率、製造業人口、富の分配等の過去数十年の変化を「蜘蛛の糸」のカンダタの心理に例えて、米国の大統領選挙結果の歴史的变化を解説されました。2024年の大統領選挙については、トランプ氏の訴追が影響を及ぼす可能性や各候補者の支持率について説明しつつ、「自由重視、一国主義の米国」と「平等、民主主義、国際協調重視の米国」という「二つのアメリカ」の傾向が顕著になっており、選挙結果の予測が極めて難しいとも指摘されています。

中国については、日米中のGDPと防衛費の違い、リーダーによる大衆の心理操作、中国が直面する課題である「4つのD(格差社会



=Discrepancy、高齢社会 =Demography、債務増大 =Debt、外交 =Diplomacy)」について解説されました。

さらに、国際情勢を考える際に重要な、リーダーと国民の心理、その背景となる歴史的な事実といった要素について、台湾や尖閣諸島にも触れながら説明され、藤崎先生の豊富な経験に基づいた、大変興味深い講演となりました。

世界を駆けるソフィアンたち

株式会社日本ヴァイオリン代表取締役社長

日本唯一のヴァイオリンキュレーター 中澤創太さん

「ストラディヴァリウスの秘密」

7月19日(水)、上智大学とソフィア会の共催による「世界を駆けるソフィアンたち」と題した講演会が開かれ、外国語学部ドイツ語学科卒の、日本ヴァイオリン・中澤創太社長を招き、「ストラディヴァリウスの秘密 ～生演奏と共に」をテーマに語っていただきました。

ストラディヴァリが製作した中で現存するのはヴァイオリン520、ヴィオラ12、チェロ53、ギター5挺。しかしそのほとんどが博物館や音楽財団の保有であるため購入できる可能性があるのは40挺ほど。また、それぞれ個性が異なるため1つを弾いたからといってほかを弾きこなせるわけではないとも。

音色の秘密として、製作時点で300年以上熟成された強い木材が使用されていることに加え、天才プレイヤーによって演奏され続けていることが挙げられました。近年は後援者が購入して音楽家に無償で貸与されており、そのマッチングも中澤社長の仕事の1つだそうです。

中澤社長は2011年、世界のストラディヴァリウスの名器21挺を集結させた展覧会を日本で開いています。キーパーソンと面会するために張り込みや待ち伏せも行き、自らSNSを駆使してPRをする



など5年間の苦闘の結果、開催を実現。7日間で約1万3,000人を集める大成功を収めました。今では、世界の音楽関係者の信頼を集めて一目置かれる存在に。

講演会ではストラディヴァリウスとそうでないヴァイオリンとの聴き比べも行われ、会場の正解率は約8割でした。

私たち、 留学してきます！

ソフィア会では2019年度から「ソフィア会留学支援奨学金」制度を制定して、海外で学ぼうとする学生を経済面からも支援しています。今回この奨学金の対象者として選ばれた3名の方に、留学直前の思いやソフィアでの学びについて伺いました。

◆ レ・ドゥックニャット・ミンさん 経済学科SPSF* 3年生 留学先：アールト大学(フィンランド)

ベトナムの高校を卒業して上智大学を受験し、SPSFの学生として上智での学生生活を過ごしてきたレ・ミンさん。専門の経済学だけでなく、学科を超えて多くの仲間とディスカッションできたことで、それまでおぼろげだったサステナビリティについても深く学ぶことができた喜び。このコースは上智大学ならではのとても素晴らしいプログラムだ、とも。しみち通りでの飲み会も楽しみ、多様な学生と授業中には味わえないフランクな会話ができたそうだ。

今回の留学の目的について伺うと、「ビジネス、経済はもちろんのこと、サステナビリティについても、日本とは違う視点で学んでみ

たい。世界でも最も幸せな国とも言われるフィンランドで、その理由を知りたい」という答えが返ってきた。

留学中にはほかのヨーロッパ諸国も旅したいと目を輝かせるレ・ミンさん。彼の留学期間は1学期だが、多くのことを学び、視野を広げて四ツ谷のキャンパスに戻ってきてくれることだろう。



◆ 広岡^{りん}鈴さん 総合グローバル学部** 3年生 留学先：ハートフォードシャー大学(イギリス)

高校生のころから舞台関係の活動に参加していた広岡さんは、留学先も演劇の盛んなロンドン近郊のハートフォードシャー大学を選択した。この大学で彼女が目指しているのは「芸術の持つ政治性」の研究。例えば『ロミオとジュリエット』には格差社会という問題も見え隠れしているが、そういったことも、上智大学の総合グローバル学部で政治を学ぶにつれて気付いたのだそうだ。

さらに上智大学で学んだことを伺うと、「多様性ですね」と教えてくれた。

「同じ科目を取っている友人でも興味関心がそれぞれ違うし、東南アジアからの帰国子女をはじめ、いろいろなバックグラウンドを持つ人と知り合えたことは、上智で学んだ大きな成果です」。

この2年間、広岡さんは学業以外にも3つのサークルで活躍して

きた。1つ目はインドとフィリピンの子どもたちに奨学金支援をしている国際ボランティアのサークル。2つ目は起業に関心のある学生が集まって立ち上げたソフィアスタートアップクラブ。3つ目はアコースティックギターのサークル。

「高校までは舞台一本だったので、大学に入ったらそれまで自分がやったことのない分野に挑戦してみようと思ったんです」。

チャレンジ精神旺盛な広岡さんの目の前には、今、留学という夢が現実のものとして大きく広がっている。その実現のお手伝いを少しでもできたのであれば、ソフィア会としてうれしい限りだ。



◆ 平野恵理さん 法学部国際関係法学科2年生 留学先：ブリティッシュコロンビア大学(カナダ)

平野恵理さんが、上智大学に入学したのは1年半前。留学の計画は、入学前から漠然と思い描いていたという。

「交換留学できる大学の選択肢、学生数が抜群に多いと聞いていたことも上智大学を選んだ理由の一つでした」。

「興味のある分野を刺激的な環境で学べる選択肢があって、さらに今回の留学支援制度を含め、学生の活動を後押しして下さる雰囲気もあるのが、上智大学に入ってとても感謝している点です」。

平野さんは小学校、中学校時代にそれぞれ中国、アメリカでの生活経験がある。

「外国で暮らしたことでアジア人としてのアイデンティティーに気

付いて、アジアのことをもっと知りたいという思いが強くなりました」。

ブリティッシュコロンビア大学を選んだのは、アジア研究が盛んなことで知られているのが大きな理由だそうだ。カナダの地から東アジアを見つめ直し、ゆくゆくは政府機関などで社会に変化をもたらす仕事をしたいと語ってくれた平野さん。日本のキャンパスが恋しくなったときのために、ソフィアジャージも購入したとのこと。1年後にどんな話を聞かせるかが楽しみだ。



* SPSF (Sophia Program for Sustainable Future) : 2020年度からスタートした、持続可能な未来を考える6学科連携英語コースのこと。

** 総合グローバル学部 (略称: FGS、英文名称: Faculty of Global Studies) : 上智大学がこれまで培ってきたグローバル教育の蓄積を活用して、創立100年に当たる2014年に設立した学部。

「2023年度」ソフィア会生活支援奨学金 「奨学生証」授与と成果報告会

6月20日、ソフィア会は2023年度の新生に対する生活支援奨学金「奨学生証」授与式と、2年生以上の奨学生の成果報告会を開催しました。大学から永井敦子学生総務担当副学長、柳澤広美学生局局长、永野仁美学生センター長、栗原康行学生センター事務長、ソフィア会からは鳥居正男会長をはじめ常任委員が参加しました。

授与式では6名の新生に「ソフィア会奨学金奨学生証」が授与され、「上智大学に入学でき、勉学に大いに励み、夢の実現に向かって希望のある大学生生活を送ります」など、感謝の言葉を述べました。

また13名の奨学生から1年間の成果報告と今年の活動計画の発

表が行われました。授業やゼミを通じて、国際機関への関心が高まった学生、大学院への進学を考えている学生、学生優秀賞を受賞した学生や課外活動にも積極的に参加している学生など、「他者のために、他者とともに」の精神で有意義な学生生活を送っていることが報告されました。

生活支援奨学金は首都圏以外の高校出身者を対象とした給付型奨学金（返済不要）です。2020年度から奨学金給付がスタートし、現在19名の学生に対し累計950万円が給付されています。



学生の課外活動へ支援金を贈呈

7月17日、ソフィア会は2023年度学生課外活動支援金贈呈式を行いました。文化系18団体、体育会42団体の60団体へ合計862万円の支援金を贈呈しました。

鳥居正男会長は挨拶の中で、自身の学生時代の体験から、課外活動は社会人の基礎造りになることと社会に出てその経験が生きてくることが述べ、学業とともに課外活動も大切であることを学生に語りました。

受賞した体育会団体代表高田晟弥さん（体育会常任委員長、水泳部）は「ソフィア会課外活動支援金を賜り、深く感謝申し上げます。体育会発展のため、有効に活用させていただきます」、音楽協議会本部の錦織光由さん（企画部長、管弦楽部）は「ソフィア会課外活動支援金を贈呈していただき感謝申し上げます。所属する11団体の連携を深め音楽祭のために有効に活用させていただきます」と、それぞれ謝辞を述べました。

この学生課外活動支援は、学生の課外活動をより活性化させたいとして、大学

に登録している団体を対象にソフィア会が支援金を贈るものです。体育会団体は所属している学生連盟の公式戦、リーグ戦、競技会などでの成績など、文化系団体については、活動実績の成果や活動助成に考慮して、選考しています。



第12回 地域ソフィア会全国大会 2023鹿児島大会開催報告

今年は
鹿児島に
大集合



今年で12回目となる地域ソフィア会全国大会が、9月9日（土）、10日（日）の両日、ニューヨーク、韓国など国外からの参加者も含め総勢166名が集まって鹿児島市内の城山ホテルで開催されました。鹿児島ソフィア会をはじめ、北九州ソフィア会、福岡ソフィア会、佐賀ソフィア会、長崎ソフィア会、熊本ソフィア会、大分ソフィア会、宮崎ソフィア会といった九州ソフィア会が総力を挙げてホスト役となり、心のこもったスムーズな運営を展開。午後2時から、ソフィアンの賑やかな交流会が開幕しました。

■ 第1部は情報交換会

今回の情報交換会は、質疑応答という形式はとらず、参加者にソフィア会の活動をしっかり理解して頂く一助として、組織委員会の川崎委員長をはじめ、地域ソフィア会活動に関連の深い各委員会の委員長及び委員が活動の概要と熱い想いを説明しました。

■ 各氏の祝辞で第2部が進行

第1部終了後15分の休憩を挟んで第2部がスタート。まず、鹿児島ソフィア会会長、吉富秀介さんによる歓迎の挨拶。続いて、「ソフィアンの絆がますます深まることを期待します」という鳥居正男ソフィア会会長の挨拶があり、さらに上智学院のアガスティン サリ理事長からは、本大会開催への祝辞と共に、常日頃ソフィア会が学院を支援してくれていることへの感謝の意、大学のステイクホルダーとの、なかんずく卒業生とのエンゲージメントを強めることの大切さが述べられました。最後に嘩道佳明上智大学学長が登壇され、祝辞と共に、コロナ前の状況にほぼ戻った大学の近況報告などを述べられました。



鹿児島ソフィア会 吉富秀介会長からご挨拶

鳥居正男ソフィア会会長の挨拶があり、さらに上智学院のアガスティン サリ理事長からは、本大会開催への祝辞と共に、常日頃ソフィア会が学院を支援してくれていることへの感謝の意、大学のステイクホルダーとの、なかんずく卒業生とのエンゲージメントを強めることの大切さが述べられました。最後に嘩道佳明上智大学学長が登壇され、祝辞と共に、コロナ前の状況にほぼ戻った大学の近況報告などを述べられました。

■ 第3部 記念講演

記念講演の講演者は1982年経済学部経済学科卒業の東和浩さん。東さんは現在、株式会社りそなホールディング シニアアドバイザー、大阪商工会議所副会頭などの要職にあり、ソフィア会の副会長も務められています。『危機から生まれる「変革のDNA」〜りそなグループ再生の軌跡〜』と題された講演は、高校時代を鹿児島で過ごされたご自分と当地とのかかわりから始まり、社会人になってからのさまざまな経験談を経て、社長時代のりそな銀行立て直しの苦労話に及び、会場のソフィアンはどンドン話に引き込まれてゆ



東和浩さん記念講演

きまします。最後に「A（当たり前のことを）、B（馬鹿にせず）、C（ちゃんとやる）、D（できれば）、E（笑顔で）」という、ABCDEにひっかけたモットーで講演を締められた東さんには、会場に集まったソフィアンから、盛大な拍手が送られました。

■ そして懇親会へ

記念講演のあとは、会場を移して懇親会へ。乾杯の発声は、鹿児島ソフィア会会長の吉富さん。続いて、加治木島津家第十三代当主の島津義秀さんによる薩摩琵琶とフラメンコのコラボが披露されました。琵琶とフラメンコというたぐいまれな取り合わせが見事に調和した素晴らしいパフォーマンスに、会場のボルテージも最高潮。ステージが終わると、それまでは登壇者の話を聞いたり、パフォーマンスを見るだけだった参加者の間に、一気に賑やかなコミュニケーションの輪が広がります。今回は特に九州地区の若手ソフィアンの参加が多く、彼らの素晴らしい会場運営も大会成功の大きな要因と言えるでしょう。今後のソフィア会の発展にもますます期待を持って大会となりました。また別会場での二次会にも多くの方が参加され、初対面も何のその、笑い声の絶えない夜となりました。

■ 翌日はエクスカーション

大会2日目は九州ソフィア会の皆さんの計らいで、1. 桜島と霧島神宮を巡るツアー、2. 知覧特攻平和会館と蒸し風呂温泉を巡るツアー、3. ゴルフコンペ蒲生カントリークラブという3種類のエクスカーションが用意されました。直前まで台風13号の影響も心配されましたが、当日の鹿児島地方は快晴で、それぞれの企画に希望者が大勢参加して、まさに有意義な2日間となりました。



2日目の桜島観光

鹿児島ソフィア会 吉富秀介会長から

今回の大会開催に際し、2月から8月まで4人の核になる実行委員と有志10数名が毎月集まり、準備を重ねてきました。当日は大勢の皆様にお越しいただき、心より感謝を申し上げます。2025年の岩手大会での再会を楽しみにしております。

広報委員会委員長 大塚智美 (1980 経経)

ソフィアンの 広場

海外ソフィア会

ベルギー・ソフィア会

開催日：4月16日

イエズス会のエリザベト音楽大学学長兼理事長の川野祐二氏（1981 文史）が広島より参加。音楽留学中の若手や近隣諸国会員もブリュッセル旧市街のレストランに集い、会旗の初お披露目で盛り上がりました。



ワシントンDCソフィア会

開催日：5月30日

NAFSA のカンファレンスで訪米中の暁道学長の歓迎夕食会を、アメリカで最も格式高い社交クラブの一つであるコスモスクラブのプライベートダイニングルームにて、2018年の前々回に続き開催しました。



マドリッド・ソフィア会

開催日：6月2日

美味しい食事とお酒を楽しみながら、ほとんどが知り合いの参加者6名で、改めて近況報告をしました。前回撮り忘れてしまった写真も、今回は無事に撮影。次回は年内の開催を予定しています。



英国ソフィア会

開催日：6月5日

ロンドンの原宿と言われるカムデンの和食屋「東京レトロ」を貸し切り、初夏の親睦会を開催。寿司に天ぷら、♫のナポリタンまで、完璧な日本の居酒屋メニューで3時間以上盛り上がりました。



台湾ソフィア会

開催日：7月3日

台北の豪華で落ち着いた雰囲気のレストラン「海峡會」で年次総会兼親睦会を開催。2020年に東亜経済協会の理事長に就任された黄名誉会長による両国の経済に関するご講演もありました。



LAソフィア会

開催日：7月8日

太陽いっぱい夏のロサンゼルスで、総勢約30名の卒業生がご家族友人連れで久しぶりに集いました。自宅庭先でのポットラック形式による、80代から今年の新卒までの世代を超えた楽しい交流となりました。



シアトル・ソフィア会

開催日：7月15日

長年会長を務めてくださっていた佐々木孜氏（1969 外英）の旭日小綬賞授章のお祝いの会を開催しました。シアトル日系社会への40年間に渡る多大なる貢献をご本人から伺える有意義な会となりました。



サンパウロ・ソフィア会

開催日：7月27日

総会を中華料理レストラン China Lake で開催しました。新幹事の紹介・承認決議等の手続きを経て、楽しい宴に移行。お互いの現状報告やキラキラした学生時代の思い出話で、大いに盛り上がりました！！



国内ソフィア会

アルプスソフィア会

開催日：5月13日

河童橋～明神橋～徳澤を往復する約4時間のトレッキングコースに9名が参加しました。北アルプスの山々やシーズンの二輪草群生の景色を堪能。下山後は上高地西糸屋山荘で乾杯し、次回を企画しました。



文京ソフィア会

開催日：5月28日

ASF に合わせて、母校キャンパスにて1963年卒から2020年卒までのソフィアンと文京区在住の在校生計20名の出席者が、交流の場を得て活発な情報交換を行いました。本年度後半に次回を予定しています。



札幌ソフィア会

開催日：6月10日

4年ぶりの総会・懇親会を、西澤副学長、木村外国語学部長、鳥居ソフィア会会長、富樫後援会役員にも参加いただき総数42名で開催。北海道産ワインを余市で作っている2人のソフィアンが話題を呼びました。



山梨ソフィア会

開催日：6月24日

昨年度創立30周年を迎え、記念総会を甲府「古名屋ホテル」で4年ぶりに対面にて開催。総勢27名が出席し、SOPHIA 未来募金への寄付金10万円を贈呈。記念誌『山梨ソフィア会のあゆみ』を発行しました。



板橋ソフィア会

開催日：7月2日

第29回総会・懇親会を開催。来賓にソフィア会常任委員・組織委員会委員長 川崎晴夫様（1978 経営）をお迎えしました。出席者は17名と少なめでしたが、コロナ対策をしつつ久しぶりの再会を楽しみました。



さいたまソフィア会

開催日：7月8日

第19回総会が、近隣ソフィア会員を含む32名の参加を得て開催。「99%の日本人が知らないお金の真相」と題して、幹事の水野清重氏（1985 外英）にデフレ脱却のカギについて特別講演をいただきました。



熊本ソフィア会

開催日：7月8日

今年も20名の会員が参加して、会員が経営する熊本の老舗中華料理店「紅蘭亭」で総会を開催。各議案を審議可決後は懇親会に移り、最後はみんなで校歌を久しぶりに斉唱し、盛会のうちに終了しました。



宮崎ソフィア会

開催日：7月21日

江戸銀にて開催。学生時代の思い出話に花が咲きました。今回はたまたま出席者の多くが50歳以上となり、高齢化を肌で感じる会となりました。



石川ソフィア会

開催日：7月30日

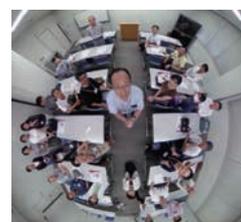
定期総会及び懇親会をANAクラウンプラザホテル金沢にて18名の参加を得て開催しました。定期総会では議案審議や役員改選が行われ、新役員での2年間のスタートが切られました。



香川ソフィア会

開催日：7月29日

徳島ソフィア会より4名のご参加をいただき、32名の参加による総会・懇親会を開催しました。四国ブロック大会を、まずは香川と徳島主導で11月の開催を目指し、準備を進めていく運びとなりました。



各種ソフィア会

上智不動産ソフィア会

開催日：4月12日

ソフィアンズクラブ会議室にて第18回定期総会および懇親会を開催。総会では満場一致で小室太一新会長の選任が可決。懇親会では初代会長の越武名誉会長ほかから新体制への熱い激励メッセージが送られました。



酒讃会

開催日：4月15日

2018年の金祝行事から5年目を「エメラルド祝」と名付け、総勢14名が4年ぶりに集いました。卒業後60年となる5年後の「ダイヤモンド祝」を目指して、健康と長寿を約束しました。



グリークラブOB合唱団

開催日：4月16日

コロナ禍では合唱活動への「風当たり」が強く、練習会場の確保にも苦労しました。約3年半ぶりとなった杉並公会堂での大演奏会は、合唱音楽で歌う喜びを多くの方々と共有する素晴らしい機会になりました。



1972年フィリピン短期交換留学プログラム同期会 開催日：4月30日

当時のアテネオ・デ・マニラ大学、メリノール大学（現ミリアム大学）、上智大学の参加者がフィリピン、アメリカ、カナダ、ドイツ、日本からリモートで出席。半世紀の時空を超えた絆を確認しました。



金祝燦燦会 開催日：5月28日

2019年以來となる留学生の対面による第9回日本語スピーチコンテストをASFで開催。優勝したマルタのデボノくんの日本語歴は1年半ですが、『日本の五感』と題したスピーチに会場の全員が感銘を受けました。



体育会ソフトテニス部 OB会 開催日：5月28日

対面のOB 27名、現役13名に、オンライン経由の3名が参加して、ASFと同日に総会を開催しました。新入部員は7名。会員専用HPの内容も充実させ、来年は創立60周年の祝賀会を計画しています。



上智町屋セツルメント OB会 開催日：5月28日

ASFに合わせて上智町屋セツルメントOB会を開催しました。上智町屋セツルメント活動が無くなって半世紀以上経ちますが、セトラーはじめ、子供会・英語会・保育園関係者に会えて楽しい会になりました。



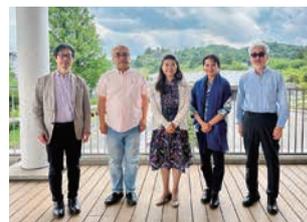
上智大学学生寮昭和36年春卒業生の会 雄鷲会 開催日：5月29日

昭和36年3月に上智大学学生寮（学内）を卒業した関係者の会、雄鷲会は、年1回東京で懇親会を開催してきましたが、参加者の高齢化（85～90歳）のため、コロナによる繰り延べを経て最終回となりました。



東北大学でのソフィア教授の会 開催日：5月29日

ドキュメンタリー映画監督のライター記者、我謝京子氏（1987外西）が東北大学での講演で仙台を訪れたことを機に、上智大学出身の教授陣4名が東北大学キャンパス近くのテラスに集いました。



デュッセルドルフ東京会 開催日：5月31日

4年ぶりの対面の会に総勢20名が参加。集合写真にはソフィア会前会長の戸川氏も。デュッセルドルフソフィア会の新井幹事代表より現地の最新情報も伺いました。次回は暑気払いか忘年会での再会を企画しています。



ソフィア・森のプロジェクト会 開催日：6月11日

10年以上にわたり、東日本大震災後の復興支援に貢献しています。会の名称を「ソフィア・森の長城プロジェクト会」から改め、初の植樹祭。梅雨空のもとで南相馬市の海岸線に約20,000本の樹を植えました。



令和5年度 上智大学体育会 OB 総会 開催日：6月24日

10号館講堂に各部のOB・OG、現役学生が一同に会しました。コロナ禍の課外活動の制限が緩和、本来の練習の成果により団体表彰8部中7部がリーグ昇級、個人部門も最優秀選手賞受賞者が2名となりました。



上智大学ソフィアギターアンサンブルOB会 開催日：6月25日

総勢75名余が集い主婦会館プラザエフで「PARTY 2023」を開催。現役、OB有志・プロによる演奏があり、前会長の故榎本捷二氏を偲び黙祷が捧げられました。旧交を温めるとともに、新たな出会いや発見のある一日でした。



応援団 OB OG 会 開催日：7月8日

本学にて第64回上南戦が行われ、男子バレーの応援後、ソフィアズクラブで懇親会を行いました。現役含め30名以上の両校OB OGが集い、昨年の名古屋以来の旧交を温めることができました。



SPEECC ソフィア会 開催日：7月30日

久しぶりに懇親会を開きました。会場はいつもの四谷のイタリアンレストラン。仕事の話、趣味の話など、色々な話題で盛り上がりました。話はSPEECCの今後の展開まで及び、和やかなうちにお開きになりました。



学部・学科同窓会

聖母看護学科同窓会

開催日：5月14日

上智大学目白聖母キャンパスにて開催。「聖母看護の精神を継承する」というテーマで佐久間勤聖母看護学科同窓会顧問・元聖母大学学長から特別記念講演を受け、若い世代とつながる同窓会について考えました。



ドイツ語学科同窓会

開催日：5月28日

約50名でのオンライン開催。高祖敏明先生（上智大学名誉教授）の「潜伏キリシタンのこころ—多彩なマリア観音像から—」のお話を伺い、グループで近況を報告するなどして、和やかな日曜の午後になりました。



史学科同窓会

開催日：5月28日

爽やかな初夏に、飲食を伴う集まりを実現。本学で長く教鞭をとられた長谷川輝夫先生の「わが青春のフランス留学記」と題されたご講演の、まるで映画を見ているような、息をもつかせぬ展開に圧倒されました。



英文学科同窓会

開催日：7月1日

ソフィアズクラブにて、小林章夫先生と高柳俊一先生の追悼集会&シンポジウムを開催。コロナ期の2021年8月と2022年7月に天国に旅立たれたお二人の恩師に、やっと感謝と追悼のお祈りを届けられました。



「上智地球市民講座」来年春開講

本学学事局に設置された Sophia Future Design Platform 推進室では、「社会変革の時代に、イノベティブに自らの地球市民としての生き方をデザインするための学び」をコンセプトに、受講生が自ら考え生き方をデザインする機会とすることを目指して、2024年度春学期から高校生・大学生・社会人を対象とした「上智地球市民講座」を開講します。

具体的には、趣味や関心・興味をはじめとした人間としての成長から、ビジネスパーソンとしてのステージアップ、社会貢献のための知的探究をテーマに、さまざまなプログラムを提供します。

開講に向けて、以下のとおり開設記念講演会を計2回実施。詳細は大学 Web サイトなどをご参照ください。

1. 第1回開設記念講演会

日時：2023年12月13日（水）18:30～20:00 ※学内にて対面実施（場所未定）

講師：総合人間科学部社会科学 藤村正之特別契約教授

テーマ：「AI時代、人生をどう生きるか」

費用：無料（要Webサイト事前申込）

対象：高校生、大学生、社会人

2. 第2回開設記念講演会

日時：2024年1月26日（金）18:30～20:00 ※オンライン実施

講師：総合グローバル学部総合グローバル学科 前嶋和弘教授

テーマ：「アメリカと世界、そして日本」

費用：無料（要Webサイト事前申込）

対象：高校生、大学生、社会人



※2023年8月31日発行の『ソフィア会ハンドブック』p.9下段、「地域ソフィア会全国大会の足跡」に下記の誤植がございました。詫びして訂正させていただきます。

第11回信州大会開催日：【誤】2020年9月24日～25日／【正】2022年9月24日～25日

追悼

通知を頂いた方々のお名前と卒業年次・学部学科を掲載し、
故人のご冥福をお祈りするとともに同窓生各位にお知らせいたします。

2023年4月～2023年9月届出(敬称略)

卒年	学科略称	氏名
1948	専 経	桑原 一郎
1948	専 経	遠藤 俊一
1949	専 新	玉置 正和
1950	経 経	山本 佐武郎
1950	専 新	野田 恭夫
1950	専 新	山本 卓志
1950	専 経	相馬 高胤
1952	経 経	金子 七郎
1955	経 経	藤田 好英
1956	経 経	工藤 伸弥
1957	文 史	加治 明
1959	文 教	蒔苗 実
1959	経 商	宮澤 功
1959	経 商	米原 宣輔
1959	外 独	瀧本 昭彦
1960	経 経	長島 博行
1960	院前西英	本多 正子
1961	法 法	溝口 靖人
1961	経 商	伊藤 寿彦
1962	文 新	岩崎 學
1962	経 経	小田切 武
1962	経 商	荒谷 幸二郎
1962	外 西	池田 学
1962	外 露	丸山 巍
1963	文 新	伊東 靖郎
1963	文 新	村井 秀三
1963	経 商	野原 英男
1964	文 教	長島 アキ子
1964	文 教	豊田 勝弘
1964	文 国	武田 信博
1964	文 英	島根 国土
1964	文 独	阿久沢 祥子
1964	法 法	逸見 宏
1965	文 英	倉沢 健治
1965	経 経	小林 詔司
1965	外 仏	横山 三四郎
1966	文 哲	渡辺 武
1966	文 教	山田 宏治

卒年	学科略称	氏名
1966	文 英	瀬口 千枝子
1966	文 英	井上 義彦
1966	文 新	勝碯 捷二
1966	文 新	小田 靖忠
1966	法 法	大石 晃
1966	外 英	岡 賢一
1966	理 機	濱本 正昭
1966	理 電	三枝 泰澄
1966	理 物	中島 秀忠
1967	法 法	加藤 茂代
1967	経 商	山下 和夫
1967	経 商	落合 栄治
1967	外 英	鈴木 驍
1967	外 英	黒岡 敏安
1967	外 独	田村 洋
1967	理 機	高橋 進二
1967	理 機	藤城 寿太郎
1967	理 化	河村 光庸
1968	文 国	杉崎 迪子
1968	文 独	野村 壽子
1968	経 経	秋山 栄
1968	外 仏	小川 了
1969	文 新	田辺 和郎
1969	文 新	米田 伶子
1969	外 英	尾崎 司郎
1969	外 西	千野 安雄
1971	文 史	斎藤 永良
1971	法 法	坂本 茂樹
1971	法 法	柗 千種
1971	経 営	片山 恵子

卒年	学科略称	氏名
1971	経 営	伊藤 吉幸
1971	外 英	多崎 孝志
1971	外 仏	水口 勲三
1971	理 機	木村 拓生
1972	法 法	早乙女 賢二
1972	外 仏	宮武 ふみよ
1973	経 経	佐藤 孝造
1973	経 営	阿見寺 誠
1974	文 哲	小島 秀俊
1974	文 国	大沢 明子
1974	文 英	河合 修一郎
1974	文 独	武田 和代
1974	理 機	小林 一成
1974	理 化	磯前 俊寛
1975	文 史	飯尾 弥生
1975	外 仏	野本 晃
1977	文 独	石澤 絢子
1978	外 英	福崎 洋子
1979	理 電	桑原 純夫
1981	外 英	高橋 恭一
1982	外 英	田井 祐子
1984	理 機	天野 淳
1985	文 史	長田 浩一
1985	理 機	島崎 裕子
1988	理 数	吉田 智之
1988	理 物	古城 孝一
1989	理 電	小野 学
1993	経 経	秋山 秀樹
1993	理 化	田辺 真紀

教員訃報(2023年春～2023年秋)

※敬称略

3月11日	石田 百合子	上智大学元嘱託講師(文学部国文学科)
3月14日	中野 記偉	上智大学名誉教授(文学部英文学科)
4月23日	マヌエル・アモロス	上智大学名誉教授(文学部哲学科)
5月4日	青木 清	上智大学名誉教授(理工学部生物科学)
8月17日	ハイメ・フェルナンデス	上智大学名誉教授(外国語学部イスパニア語学科)

ソフィアンズDCカード WEB入会のご案内

ソフィア会では「三菱UFJ ニコス株式会社」と提携して「ソフィアンズカード」を発行しています。

このカードを利用すると、カード会社からご利用代金の一部がソフィア会に還元されます。ソフィア会は、この収入を奨学金、課外活動支援などのために、上智大学に寄付しています。

現役学生の支援のために、是非、ソフィアンズカードにご加入ください。

本人会員とともに、ご希望により家族会員カードも発行されます。また、より特典の多いゴールドカードも選択できます。

加入希望の方は、右記よりお申込みください。



ソフィアンズ DCカード (一般)
年会費 1,375 円 (税込) (初年度無料)

【WEB入会 URL】

https://www.cr.mufig.jp/landing/apply/card/dc_sophia/index.html



ソフィアンズ DCカード (ゴールド)
年会費 11,000 円 (税込)

【WEB入会 URL】

https://www.cr.mufig.jp/landing/apply/card/dc_sophia_gold/index.html





ソフィア会維持会費（運営協力費）について

ソフィア会は、最終年次の学費納入の際に一括して納める「ソフィア会終身会費」とは別に、卒業後に任意で納めて頂く「ソフィア会維持会費（運営協力費）」により運営されております。税制上の優遇措置はありませんが、ソフィア会の各活動に対して迅速かつ機動的に充当させて頂きます。学部・学科同窓会、クラス、クラブ、サークルなど、団体での納入も受け付けております。

●「ソフィア会維持会費（運営協力費）」の単位

1口 1,000 円から3口を目安に、何口でも納入頂けます。

●用途

- ・会員相互の親睦活動
ASF・ASC・講演会等のイベント、会報誌の発行、ソフィアズクラブの運営など
- ・母校への貢献活動
ソフィア会奨学金の給付、学生の課外活動支援、母校の教育研究活動への支援等

●納入方法

1. 銀行振込

- (1) 三菱 UFJ 銀行 / 四谷支店 (店番 051) 普通 0410321 口座名義: ジョウチダイガクソフィアカイ
 - (2) 三井住友銀行 / 麹町支店 (店番 218) 普通 5139304 口座名義: ジョウチダイガクソフィアカイ
 - (3) ゆうちょ銀行 / O-19 (ゼロイチキュウ) 店 (店番 019) 当座 0336818 口座名義: ジョウチダイガクソフィアカイジカイヒ
- 「卒業年（西暦）」と「卒業学部名の漢字一文字」をカタカナで、お名前（カタカナ）の前にご記入ください。
ご記入例：2001 年経済学部ご卒業の紀尾井一郎さん → 2001 ケイ・キオイイチロ

2. 郵便振込

ソフィア会事務局までご連絡ください。郵便局専用の「払込取扱票」を、お送りいたします。

3. 自動引落とし（年払い制）

ソフィア会事務局までご連絡ください。「預金口座振替依頼書・自動払込利用申込書」をお送りします。
毎年 12 月 6 日にお届出の金融機関口座から指定金額が自動引落としされます。金額は、3,000 円、5,000 円、10,000 円のいずれかをご指定ください。

お問い合わせ

上智大学ソフィア会事務局

TEL 03-3238-3041

E-mail : info@sophiakai.gr.jp

会員番号がわかりの方は通信欄にご記入ください。

各票の※印欄はご依頼人において記載してください。

02 東京		払込取扱票										通常払込料金 加入者負担					
口座記号番号												金額		千 百 十 万 千 百 十 円			
0 0 1 7 0		1		3 3 6 8 1 8		金額		※									
加入者名 上智大学ソフィア会維持会費						料金		備考									
フリガナ 氏名				フリガナ 旧姓		卒年(西暦)		学部		学科							
住所				〒		電話番号		()									
電子メールアドレス																	
通信欄												日		附		印	
<input type="checkbox"/> 匿名希望 (レを付してください)		会員 番号															
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)(承認番号 東第49663号)																	
これより下部には何も記入しないでください。																	

切り取らないでお出ください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0 0 1 7 0 1										通常払込 料金加入 者負担
加入者名	3 3 6 8 1 8										
上智大学ソフィア会 維持会費											
金額	千 百 十 万 千 百 十 円										
ご依頼人	おなまえ										
料金	日 附 印										様
備考											

記載事項を訂正した場合は、その箇所を訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。

All Sophians' Christmas(ASC) 2023 開催のご案内

日 時：12月9日(土) 15:00～17:30

場 所：アクティブcommons (9号館地下1階)

第一部：クリスマスのいのり

第二部：クリスマスのつどい

- ・今年 は土曜日の日中(15:00-17:30)の開催となります。ご家族での参加もお待ちしております。
- ・第一部は神聖ないのりの場、第二部はプロの卒業生や学生バンドによる華やかなクリスマスのステージ演奏をお楽しみください。多くのブースも出店いたしますので、こちらもぜひお楽しみに。
- ・参加費は無料です。軽食、お菓子類、ソフトドリンクを用意します。アルコール類は有料での提供となります。
- ・対面のみでの開催です。



皆様のご参加をお待ちいたします。HP、SNS もご覧ください。

2024年度 ソフィア会 年間スケジュール	2024年	2月 6日(火)～2月11日(日)	2024年一般入試
		2月24日(土)	2023年度各祝祝典
		3月25日(月)	学部・大学院学位授与式
		4月 1日(月)	学部・大学院入学式
		5月18日(土) 【予定】	春季全国代議員会
		5月26日(日)	All Sophians' Festival(ASF)2024
		9月 【未定】	ソフィアズカップ・ゴルフ大会
		9月もしくは12月 【未定】	ソフィア会ハノイ大会(仮称)
		9月20日(金)	9月期学位授与式
		9月21日(土)	9月期入学式
		10月19日(土) 【予定】	秋季全国代議員会
		11月 1日(金)	創立記念行事・先哲祭
		12月 3日(火)	ザビエル祭
	12月 【未定】	All Sophians' Christmas(ASC)2024	
2025年	3月28日(金)	学部・大学院学位授与式	

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



この場所には、何も記載しないでください。